

手術時手洗い法 (Surgical Scrub)

術前の手洗いをする場合には、外科的手洗いに関する基本的な基準にしたがって手洗いを行う。手術中の汚染および感染防止のため、常在菌数を減少させ、微生物の急速な再増殖を防ぐためである。

I. 予洗い

1. 素洗い (約 10 秒)

両手指から肘関節 3 横指上まで流水にて擦り洗いする。

2. もみ洗い (約 20 秒)



手掌にマイクロシールドまたはマスクインスクラブ (以下消毒薬剤とする) をとる。



両手指から肘関節 3 横指上まで十分に摩擦し、流水にて洗い流す。消毒薬剤の泡がたたないのは汚染しているためで、そのような場合は時間にとらわれず泡がたつまで洗う。

II. 本洗い

1. 爪周囲ブラッシング (約 20 秒)



滅菌ブラシ (ひとつのブラシを両手に使用) に消毒薬剤をとり、爪周辺をブラッシングし、ブラシを捨て流水にて洗い流す。

2. もみ洗い 1 回目 (約 80 秒)

手掌に消毒薬剤をとりもみ洗いする。

1) 両手爪もみ洗い (約 20 秒)



2) 両指全体もみ洗い (約 20 秒)



3) 両手背もみ洗い (約 10 秒)



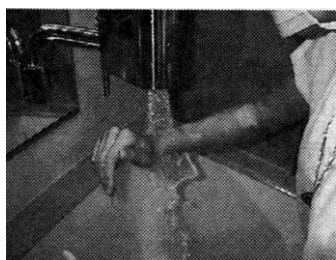
4) 両手掌 (指間を含む) もみ洗い (約 10 秒)



5)前腕から肘関節までもみ洗い (約 20 秒)



6)流水にて末梢から中枢に向かい洗い流す



3. もみ洗い 2 回目 (約 80 秒)

1 回目と同様に行う。ただし、5)は前腕末梢 2 分の 1 までとする。

4. もみ洗い 3 回目 (約 20 秒)

手掌に消毒薬剤をとり、両指から両手首まで十分に摩擦し、流水にて洗い流す。

Ⅲ. 仕上げ

1. 手拭き

1)バリアワイパー(ディスポーザブル滅菌タオル以下タオルとする)を周辺に垂れ下げないように、両手の中に丸め込むように 2 枚取る。



2)2 枚のタオルをもむようにして手指、手掌、手背を拭く。

3)1 枚引き出して手首にかける。もう 1 枚は手の中にまるめこむ。タオルの両端をしっかりと把持し肘関節に向かって拭きあげ、タオルの外側をひっぱりはずす。内側にひっぱると逆の手につく可能性がある。もう片方の手も同様に行う。



2. 擦り込み消毒 (約 60 秒)



ウエルパス (擦式消毒剤) を手掌にとり、手にとったウエルパスが乾くまで十分にすりこむ。1 回の使用で装置より 3ml 出る。男性 6ml 女性 3ml の使用を基本とし、手の大きさにより量をかえる。

合計約 5~6 分

* 注意事項

- ・爪は短く切っておく。マニキュア、指輪、時計などははずし、服装の確認後手洗いを始める。
- ・手洗いを始めると二度と手を肘より下げない。また、自分の視野の範囲に置く。視野からはずれると汚染する可能性が高くなる。
- ・手洗いはどの段階においても、末梢から中枢に向かって行う。
- ・指先、指間、第 1 指周辺は洗い残しが多いため、特に注意する。擦り込み消毒についても同じである。
- ・手指で清浄度の劣る部位には触れない。
- ・手洗いが終了したら、腕を曲げすぎず、手を下げないように保つ。